

～ジェンダー学講義 学生の感想（抜粋）～ （1面のつづき）

- ・性別役割分担意識がなくなり、男性も女性も育児を分担して担うことが当たり前になるようになる社会に近づくには、性を女性、男性、それ以外のLGBTの人々と分けて考えるのではなく、性とはスペクトラムだと捉えるという考えがとても役立つと思った。
- ・私も無意識に持っていてしまっている固定観念や無意識にできてしまっている女性差別等に対して自身を客観視することで見直していきたいと思いました。
- ・男性女性関係なく互いにサポートしあえるようになるためにはまず自分が周りの人の支えになれるように相手を理解する必要があると思う。
- ・HOVのワクチンの重要性についてあまり知識がなかったのとてもいい学びになりました。
- ・今後勉強する、がんについて女性だけでなく男性も自分のこととして考えていくべきだと思った。
- ・ジェンダー学というのはなんとなく社会における男女の差をなるべく縮めていく感じのものだと思っていたが、違いを正しく認識することがたいせつで、対立概念ではなく連続スペクトルだというのは考え方が変わってためになった。
- ・ジェンダー学というのは社会における男女の差をなるべく縮めていく感じのものだと思っていたが、違いを正しく認識することが大切で、対立概念ではなく連続スペクトルだという考え方はためになった。
- ・性別にこだわらない時代であっても体の構造の違いがあること、そしてお互いに協力することの重要性について学ぶことができました。
- ・自分は男子学生ですが、子宮頸がんや乳がん、更年期障害などの女性に多い病気に対して正しい認識を持って、医師として広く周知していけるようになりたいと思いました。



九州大学病院 臨床教育研修センター

きらめきプロジェクト

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1-1

TEL・FAX：092-642-5203

E-mail：kirameki@jimu.kyushu-u.ac.jp

URL：https://www.kiramekipj.kyushu-u.ac.jp/



きらめき通信 vol.80

2024年5月（隔月発行）

医学部ジェンダー学講義を行いました

きらめきプロジェクトでは、プロジェクトの活動の一つとして、医学部・歯学部の学生に対し、医療人としてのプロフェッション教育を行っています。

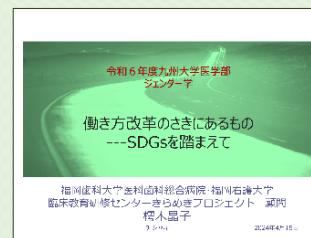
日時：4月15日(月) 2、3時限目

講師：きらめきプロジェクト
プログラム責任者 加藤 聖子 先生
顧問 樗木 晶子 先生



加藤 聖子先生 樗木 晶子先生

4月に医学部2年生を対象としたジェンダー学講義を行いました。講義では、講師の先生方がそれぞれのご専門の観点から実体験なども交えてお話をされました。



2時限目 樗木先生講義資料より



3時限目 加藤先生講義資料より

～ジェンダー学講義 学生の感想（抜粋）～

- ・人は一人一人個性を大切に自分で自分に合う仕事をしていけばいいのだと考えることができました。
- ・医療従事者の数が足りない中で環境を整え男女が同じように働けるようになることはとても大事なことだと感じた。
- ・将来はジェンダー学がなくなるほど男性医師と女性医師の格差がなくなるように私も努力をしたいと思います。
- ・医師の働き方改革が正しい形で実現されていくことを願います。

（4面につづく）



令和6年度 医学部学生交流会を開催しました

きらめきプロジェクトでは、学生のキャリア形成における意識啓発やロールモデルの提供を目的として、医学部・歯学部それぞれで学生交流会を毎年開催しています。

【日時】令和6年4月15日（月）12:00～12:55

【場所】九州大学病院キャンパス 臨床小講堂2

医学部学生交流会は、福岡県医師会と共催して行いました。福岡県医師会から副会長 一宮 仁先生と理事 田中 眞紀先生にお越しいただきました。両先生はアンケート結果や多くの資料を示しながら、会場いっぱいに参加した学生に向けて、とても分かりやすく、貴重なお話をしてくださいました。この日は開催時間に合わせて、美味しいランチをいただきながらの会となりました。



共催ご挨拶
福岡県医師会 副会長
一宮 仁先生



ご講演
福岡県医師会 理事
田中 眞紀先生



開会ご挨拶
九州大学病院
臨床教育研修センター長
新納 宏昭先生



～参加した学生の声～

- ・働き方改革について知ることが出来てとても有意義な時間でした。
- ・田中先生のお話が興味深かったです。今後医師として働く上で常に10年後どうありたいかを考えながら学び続けていきたいと思えます。
- ・聞いたことない話だったので非常に興味深い話だった。
- ・今回とてもためになる話が聞けて、モチベーションの向上にも役立ちました。ありがとうございました。
- ・現場を間近に感じられる非常に良い機会になりました。
- ・キャリアについて具体的にイメージできたので良かったです。
- ・将来について考えるきっかけになりました。

